

市議会議員 あいざき佐和子 活動ニュース vol.42

ITAMI大好き! 2014年2月

どちらも都市部の空港!

伊丹空港と福岡空港、どう違う?! ~飛行場委員会の視察~

■飛行場委員会で視察へ!

伊丹市議会には「飛行場問題対策特別委員会」という特別委員会があります。特別委員会というのは、その自治体が独自で抱える課題について、特別にチームを結成して対策していこうというもの。この委員会はその名の通り、「伊丹空港の諸課題について対策を検討する」委員会です。

相崎は現在、この「飛行場問題対策特別委員会」のメンバー。1月22~23日に、この委員会で視察に行きましたので、その報告をいたします。

※相崎は「公費で行く議員視察は、行きっぱなしではダメ。入念に下調べし、めいっぱい見聞し、市民に報告し、市政に活かすべき」と考えているゆえ、しっかり報告させていただき次第です。

■1日目 ~国土交通省への要望~

初日は、伊丹空港から羽田空港まで飛び、国土交通省へ。

この委員会視察は、1日目が国土交通省への要望・2日目が各空港の視察が定番コースです。

国土交通省では、あらかじめ用意した要望書に基づき、懇談しました。以下所感。



●安全と環境(騒音)への配慮

これが、地元自治体である伊丹市として一番要望すべきことであると考えています。こちらが「くれぐれもよろしく頼みます」と言い、向こうが「もちろんです。しっかり対策していきます」と答えるだけかもしれません。しかし、常に言い続けていかねばならない事柄です。

今回も力強く訴えました。

●国際チャーター便の運航

現在、「国際線は閑空で」との基本方針があり、伊丹空港から国際線は就航していません。つまり現在、伊丹空港から外国へは飛行機が飛んでいないのです。ただ、規制の枠内で国際線を近距離からでも復便できないかとの想いがあります。これを要望したところ、回答は「地元の合意も必要」とのこと。運営会社や閑空周辺自治体とも、コミュニケーションを強化していければと思います。



●伊丹空港の今後

基本方針(「関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する基本方針」)に、「伊丹空港は、廃港も含めて、今後のあり方を検討する」という記載があります。「廃港も含めて」の文言を削除する要望をしたところ、「文言は、選択肢を広げるものと認識している」と、分かったような分からないようなお答え。

私は「選択肢が逆に狭くなっていないか?」という気がするのですが、ともかく引き続き要望をしていくつもりです。もちろん長期的視野で、伊丹空港をどうするか議論するのは、やぶさかではありません。

■2日目 ~福岡空港~

羽田空港から福岡空港へ。2日目は、福岡空港の視察。

福岡空港、みなさん行かれたことはありますでしょうか? 福岡空港は、都市部にあるという点で伊丹空港とよく似ています。騒音対策や周辺環境対策について話を伺いました。

福岡空港は、福岡駅から地下鉄で2駅。非常に便利な立地にある一方、騒音被害は深刻です。

ただ私はこれまで福岡空港について、「騒音問題が深刻!」「住民側が反対運動!」など、あまり見聞した事はありませんでした。さらに、このたび滑走路を増設することになったのですが、住民からの大きな反対の声は上がっていない雰囲気。…騒音と戦ってきた伊丹とは違う感じ? 福岡の人は伊丹に比べて騒音に寛容?

さっそくこの疑問をぶつけてみたところ…

問:「伊丹では歴史的経緯もあり騒音問題には非常に敏感なのですが、福岡はそれに比べると寛容な印象を抱きました。実際はどうなのでしょう?」

答:「もちろん福岡でも騒音が受け入れられているわけではありません。特に周辺住民の皆さんは「騒音をなんとかしてくれ」との強い想いを持っておられる方も多いです。ただ、同じ福岡市民でも騒音に関しては温度差があるかもしれません。あと、福岡空港について「とにかく便利だ」「福岡の発展に寄与している」などのメリットを、多くの人が強く実感しているところは大きいと思います」(※私のメモから。おおむねこんな回答。)

なるほど、地域によって空港に対する住民感情は様々なものですね。